

トップメッセージ(営業の概況)

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
当社は、一般消費動向など当社を取り巻く事業環境も概ね堅調で、各事業とも業績は順調に推移いたしました。

特に、航空関連事業では、強化・拡充ビジネスの一つと位置付ける、国内重工業向け航空機部品の保管・供給ビジネスで取扱高を拡大し、好調な実績をおさめました。また、顧客サービス事業では、空港周辺における不動産開発や、リゾートタイムシェアシステム『JALパッケージング』などで、着実に事業規模を拡充いたしました。

これらにより、2007年3月期の売上高は前期を上回り、経常利益では3期連続で最高益を更新することができました。株主の皆様、関係先の皆様、日頃のご支援の賜と深く感謝申し上げます。

なお、当期中において、海外小売店の閉店などに伴う固定資産除却を実施いたしましたので、当期純利益では前期を下回りました。

また、当期中に株式の異動がございまして、双日株式会社当社筆頭株主となりました(双日30%、JAL21%)。今後、中期的には、JALグループに加え、双日グループの機能やネットワークなども、JALUXの強みとして最大限活用してまいりたいと考えています。そして、航空関連事業と、リテールを中心とする生活提案事業の成長をはかり、「経常利益50億円」の目標達成へ向けて尽力してまいります。

さらに、配当性向については単体ベースでの設定を変更し、連結純利益に対し3割を目標とし、適切な株主還元にも努めてまいります。

引き続き、皆様からのご期待と、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

岡崎 俊城



連結業績 (単位:百万円)	2007年 3月期	前期比 (%)	2008年 3月期予想	前期比 (%)
売上高	114,133	106	120,000	105
売上総利益	24,530	105	25,500	104
営業利益	3,246	133	3,500	108
経常利益	3,516	109	3,700	105
当期純利益	1,579	94	1,850	117

来期の業績の見通し(2008年3月期予想)

航空関連事業では、好調な航空機部品や、海外のエアライン向けの中古航空機販売などで、引き続き増益を見込み、基盤の拡充をすすめてまいります。

生活関連事業では、通信販売において新たなデータシステムを本格稼働し、マーケティング力や顧客サービスの向上と、効率化の推進により、増益を目指してまいります。また、食品では、当期にリニューアルした「カレーデスカイ」などの拡販をはかってまいります。

顧客サービス事業では、『JALパッケージング』におけるハワイの物件のラインナップ拡充、また、空港店舗『BLUE SKY』では、好調な新千歳空港や羽田空港を中心とする増益が見込まれます。

さらに、新規事業分野の一つである「厚生分野」では、東京・調布市と品川区の介護付有料老人ホーム『JALUXグッドタイムホーム』の安定的な運営により事業の充実をはかります。

これらにより、計画の確実な達成による最高益の更新と、持続的な成長を目指してまいります。

セグメント別概況

